

そのふれあいって不適切かも!? 支援者としての境界線とは

日々の支援の中でモヤッとするお子さんとのふれあい事例や
成人期の方への支援事例から、改めて支援者のあり方を振り返る

参加費無料

7月8日(火) 午前9:30-11:30
会場受付・Zoom入室 開始9:15~

現地 &
オンライン
開催

横浜市障害のある子に関わる自主勉強会は、横浜市放課後等デイサービス自主勉強の会より名称変更いたしました。2025年度も横浜市全域に向けて、有益な研修をお届けできるよう頑張ります！

2025年度第1回目の研修は、支援中のお子さんとの直接の関わりの中で生まれるモヤッに注目！

- ▶「適切な距離」とは言うけれど、現場で上手く実践できていない…。職員間で考え方が違う…。
 - ▶お子さんからのちょっかいやおふざけにどこまで付き合うべきなのかわからない…。
- などなど、これらの疑問へ皆さんと一緒に正面から向き合う内容です。

会場

横浜あゆみ荘 研修室1
(都筑区葛が谷2-3)
or オンライン (Zoom room)

対象者

横浜市の障害児通所支援事業所、
相談支援事業所の支援者、
その他 障害のある子に関わる方

お申込み方法

下記二次元コードを読み取り、フォームに
必要事項を記入の上お申込みください。



申し込み締め切り
7月3日(木)11:00



講師

なかの あやこ (社) 縁パワー人材開発研究センター
中野 絢子 代表理事

『性の健康発達』の視点から捉える
幼少期～学齢期のお子さんとの境界線

性に関する知識があると、人との距離感の問題や性に関する
困りごと、発達課題として前向きに支援していくことが
できます！

かみじょう けんたろう 社会福祉法人恵和
上條 健太郎 人材育成室課長

「成人期の方のお付き合いや性のことを
支えていくためのチームづくり」

実際の関わりの中で感じたことや大切であると実感したこ
とをお伝えします。また、支援者の「不適切な関り」が大
きなトラブルになる前の組織、チームとしての対応につい
てもお伝えしたいと思います。